

令和6年7月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和6年7月30日(火)		
2 開会及び閉会	開 会	13時00分	
	閉 会	15時40分	
3 出席委員	教 育 長	三 宅 泰 司	
	委 員	石 井 希 典	
	委 員	上 西 芳 樹	
	委 員	片 山 美 香	
	委 員	門 原 眞 佐 子	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	岸 川 和 忠	教育次長	島 田 和 男
次長(教育総務部長兼務)	疋 田 洋 一	学校教育部長	齋 藤 靖
生涯学習部長	大 谷 哲 子	教育企画総務課長	山 邊 真由美
教育企画総務課 企画調整担当課長	佐 藤 美 穂	就学課長	山 本 泰 弘
就学課学校調整担当課長	政 久 秀 生	学校指導課長	西 山 径
学校指導課係長	坪 井 和 美	学校指導課指導主査	末 田 順 子
学校指導課指導副主査	森 阪 加 愛	学校指導課指導副主査	今 井 洋 平
学校指導課指導副主査	中 島 俊	学校指導課指導副主査	赤 堀 かお梨
学校指導課指導副主査	佐 藤 泰 輔	教育支援課長	竹 中 茂 樹
教育支援課係長	森 通 代	教育支援課指導副主査	高 越 順 平
教育支援課指導副主査	久 安 辰 徳	教育支援課指導副主査	後 藤 尚 毅
教育支援課指導副主査	瀬 島 真 紀	保健体育課係長	佐々木 健太郎
教育研究研修センター 指導副主査	中 山 佳 昭	教育研究研修センター 指導副主査	外 伸 彦
教育研究研修センター 指導副主査	妹 尾 雅 史	教育研究研修センター 指導副主査	金 見 春 花

教育研究研修センター 指導員主査	小林 和 弘	生涯学習課長	永 井 正 博
事務局 (教育企画総務課主査)	岩 木 洋	事務局 (教育企画総務課主事)	難 波 実 佑
5 議題及び結果			
議案 第17号 令和7年度使用教科用図書の採択について			原案可決
6 教育長等の報告 [令和6年6月13日(木)～令和6年7月12日(金)]			
6/25	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開授業・保育) 古都小・三門幼	学校指導課	
6/26	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開授業) 芳泉小	学校指導課	
6/27	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開保育) 操南幼	学校指導課	
6/27	第6回夜間中学授業体験会 岡山後楽館中学校	就学課	
7/1	教育長学校訪問 旭操小学校	教育企画総務課	
7/2	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開保育) 興除こども園	学校指導課	
7/5	子どもが輝く学びづくりプロジェクト(公開授業) 蛍明小	学校指導課	
7/5	事務に関する点検・評価に係る外部評価委員との意見交換会	教育企画総務課	
7/5	教育長学校訪問 浦安小学校	教育企画総務課	
7/8	教育長学校訪問 操南小学校	教育企画総務課	
7/12	令和6年度岡山市「地域と学校の協働フォーラム」	学校指導課・生涯学習課	
7 議事の概要			
教育長	○ 定刻が参った。ただいまから7月岡山市教育委員会定例会を開会する。本日は、傍聴希望者が12名おられるが途中からの入場となる。それでは、日程第1、会期について、本日1日限りとしてよろしいか。		
全委員 教育長	○ 〈承認〉 ○ 日程第2、こちらに6月定例会の議事録があるので、順次ご覧いただき、問題がなければご署名をお願いします。 日程第3、事業報告をご覧になって何かご質問があればお願いします。		
上西委員 教育長	○ 何校か学校訪問されているが、その状況等を教えていただければと思う。 ○ 小学校3校行かせていただいて、それぞれ校長先生を中心に、いろいろ工夫をされて、授業や子どもの生活を考えてくださっていると思った。 浦安小学校ではICT活用が非常に進んでいて、8月号の「市民のひろば」別冊を見られたかもしれないが、浦安小学校の特集がなされていて、かなりクロームブックを使って授業をやっていることが分かるので、学校が刺激を受けたらいいと思っている。 以上である。 ほかはいかがか。		
片山委員	○ 幼稚園やこども園も含めた場所での学びづくりプロジェクトがどんな様子か、幼稚園やこども園の保育にも関心をおもちの小・中学校の先生がいらっしゃるかどうか等をお教えいただければありがたい。		
学校指導課長	○ 今年度の子どもが輝く学びづくりプロジェクトがスタートした。今年度については、少し変えていて、できる限り指導教諭、ベテランの先生が授業を公開するようお願いしているが、昨年度から授業者を決めている学校もあるので、必ずしもそうはなっていないというのが1つ大きくは変わらなかった点である。コロナが明けたとはいえ、先生方が忙しいというのもあるようで、中学校区以外からの参加者が		

<p>教育長</p>	<p>少し少ない。幼稚園、こども園の公開保育についても、同じ中学校の先生、小学校の先生は見に来られているが、それ以外の学区外はなかなか難しいというのが正直なところである。公開授業については、例年どおり一生懸命事前に指導案を練っていただいて、いい授業、保育ができていて感じている。</p>
<p>教育長 石井委員</p>	<p>○ 実際にこども園、保育園を見るのが大きい。特に中学校の先生たちが見られると、かなり刺激を受けるようだ。</p> <p>○ ほかはいかがか。</p> <p>○ 4番、夜間中学の体験会だが、夜間中学は注目度も高い。何か大きな課題が見えているところがあれば、教えていただきたい。</p>
<p>学校調整担当課長</p> <p>石井委員 学校調整担当課長 教育長 学校調整担当課長</p>	<p>○ 先日、7月25日に入学説明会を岡山後楽館中学校で実施をし、13名の方が来られた。何人来られるかというのが一番大きな関心のところである。13名の方には願書も渡して、10月からの出願をお願いしているところである。</p> <p>○ その13人というのは想定範囲のことなのか。</p> <p>○ 大体これぐらいかなというのは当初から想定はしていたところである。</p> <p>○ 今のところ課題はないか。工事が入るのか。</p> <p>○ この夏は音が出る工事を中心にやっけていき、12月までの予定になっている。契約も済み、工事に入っていき準備をしているところである。</p>
<p>教育長 学校調整担当課長 教育長 門原委員</p>	<p>○ 今のところ順調か。</p> <p>○ 準備としては順調である。</p> <p>○ ほかにはよろしいか。</p> <p>○ 12番目の「地域と学校の協働フォーラム」について、主な内容と、現時点での見えてきた課題があれば教えていただきたいと思う。</p>
<p>学校指導課長</p>	<p>○ 例年、年に1回、学校の校長先生を中心とした管理職の先生だけではなく、この学校運営協議会に参加していただいている学運協の皆様、地域の方にも参加していただく大きな会である。講師の方からは県外の取組等の話をさせていただけるので、地域の方には毎年、大変勉強になった、大変参考になったという感想をいただいている。講師は文科省が指定しているCSマイスターと言われる方を今回呼び出して、校長先生方が不安に思っていることと等、学校の不安を取り除けるような取組事例をたくさん紹介して下さって、非常によかったという感想をいただいている。</p>
<p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ ほかはよろしいか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、次に、議事に入る前に、会議の公開、非公開について諮る。 日程第4の第16号議案は、附属機関等の委員の任免に関する事項に該当する。そのため、岡山市教育委員会会議規則第7条第1項第2号に基づき非公開としたいと思うが、よろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、日程第4の第16号議案は非公開と決定する。</p> <p>(非公開議案終了後、傍聴者等入室)</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 新たに傍聴される方と報道機関の皆様へのお願いがある。 携帯電話などの音が出るものは、音が出ない状態にさせていただきたい。静かな環境の中で審議を行うことができるよう、皆様方のご理解とご協力をお願いしたい。 そして、報道機関の方はいいが、傍聴席に座られている方々は写真等の撮影、録音は認めていないので、あらかじめご了承いただきたい。よろしいか。</p> <p>○ それでは、日程第5、第17号議案を学校指導課から説明願う。</p>
<p>学校指導課長</p>	<p>○ 本議案は、岡山市立小学校、中学校及び岡山後楽館高等学校並びに小学校及び中学校の特別支援学級における令和7年度使用教科用図書を選択するものである。 なお、小学校には義務教育学校（前期課程）、中学校には義務教育学校（後期課程）及び岡山後楽館中学校を含むものとする。</p>

<p>全委員 教育長</p> <p>学校指導課指導主査</p> <p>教育長 全委員 教育長</p> <p>石井委員</p>	<p>初めに、中学校、義務教育学校後期課程及び岡山後楽館中学校で使用する教科用図書の採択をお願いする。</p> <p>中高一貫校である岡山後楽館中学校については、他の中学校とは別に採択することはできるが、岡山市においては他の中学校と同じ教科用図書採択を行っている。</p> <p>委員の皆様には、教科書見本を事前にお渡しして、本日まで独自に調査研究を進めてくださっている。教科書見本については、本日同じものを机上に並べているので、ご審議の際に必要な応じて参考にしていただければと思う。</p> <p>また、事前にお渡ししている教科書展示会でのアンケートについても参考にしていただければと考えている。</p> <p>なお、種目ごとに採択する教科用図書と採択理由を決定していただくわけであるが、進め方については次のように考えている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、事務局から種目ごとに選定資料について簡潔に説明する。 2、委員から教科書見本または選定資料について質問や確認事項があれば、事務局が回答する。 3、各委員から採択すべき教科用図書とその理由について発表していただく。 4、意見が一致した場合は、採択理由について審議する。 5、意見が一致しない場合は、どの教科用図書がよいか、十分に意見交換した後、採択により決定する。 6、教育長が、採択した教科書と採択理由を確認する。採択理由については、3点程度にまとめる。 <p>以上で中学校、義務教育学校後期課程及び岡山後楽館中学校教科用図書についての説明を終わる。</p> <p>ご質問等はよろしいか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、今の手順で種目ごとに進めてまいりたいと思う。 まずは、国語について審議する。 事務局より説明をお願いする。</p> <p>○ 国語の各社の特徴をご説明する。 まず、東京書籍である。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域ごとのページにインデックスが付されていることで、生徒が学習のねらいを捉えやすくなっているという特徴がある。 次に、三省堂である。全学年の第1単元にグループディスカッションが配置されており、生徒が話し合い活動の枠組みを系統的に学習できるような構成になっている。 次に、教育出版である。「話すこと・聞くこと」について、全学年で教材配列や学習の流れが統一されており、学習指導要領を踏まえた言語活動が展開されるようになっているという特徴がある。 最後に、光村図書である。「情報×SDGs」では、生徒が情報を読み取って活用したり、情報を関連付けて考えを整理したりする力を身に付けられるように具体例が記されているという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p> <p>○ それでは、教科書見本または選定資料について、質問や確認事項があるか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、採択すべき教科用図書とその理由について、各自で検討した結果を案として発表していただきたい。</p> <p>○ 光村図書を挙げさせていただく。 岡山市の子どもの課題に、今ご説明いただいた内容が対応していると考えたところが一番であるが、それ以外にそれぞれの単元で何ができるようになるかというところが明確で分かりやすいと考える。例えば全学年、巻頭で思考の地図という思考のフレームワークが示されていて、それが巻頭についているので、それに基づいて、そのフレームワークが身に付きやすいと考えている。そのフレームワークの中でも</p>
--	---

	<p>論理的思考というものがあるが、仮説を立てるべきことが明確に示されていて、国語以外の科目や実社会においてもそのような考え方、フレームワークというのは役に立つと考えている。</p> <p>ほかにも随所に工夫がされていて、パリオリンピックでも取り上げられていた「最後の晚餐」や、ほかの科目との関連性なども非常に興味深く、面白い内容で伝えられていて、国語を学ぶ意義がよく理解できて、子どもたちが主体的に取り組める内容になっていると思う。</p>
上西委員	<p>○ 私も光村図書を推す。各社、非常によく工夫されていると思ったが、光村図書は冒頭で読む目標という形で、この単元でどう学んでいくかということをしっかりとしてより分かりやすく明示されていたことに加えて、私は「学びへの扉」というものが非常にいいと思った。QAみたいな形で、他社はもう少し抽象的な問いになっていたが、それに比べて問いが個別的で、具体的な聞き方をしっかりして、ここを読むことによって、ここの単元の文章はどこをどういうふうに気を付けて読んでいくかが非常に分かりやすい内容になっていると思った。試験に直結するという話はあまりすべきではないのかもしれないが、国語の問題文でもこういうことを聞かれるのだなということが分かるような、そういうことも学べるような教科書になっていると思ったので、この光村図書を推したいと思う。</p>
片山委員	<p>○ 私も光村図書を推薦したい。理由については、先ほども「学びへの扉」、さらに深めて「学びのカギ」でより具体的な学びの活用の仕方等が深められて、自分の力で主体的に言葉の力を伸ばしていくこと、文章を読む力などいろいろ学んだことを生かす知恵につながっていくと思った。</p> <p>もう1点、「言の葉ポケット」というのは大変興味深く読ませていただいた。今頃学生と話していても、本当に表現力が豊かではなく、エグい、だるいなど、何かそういう言葉で全て片付いてしまうようなところがある。色々な言葉の豊かな使い方や、そういった言葉を知るところで興味深く読めて、よいと思ったので、総合的に見て、今の多様な子どもたちの課題に即した教科書として光村図書を推薦したい。</p>
門原委員	<p>○ 私も、お三方と同じで光村図書を推薦したい。もうほとんど理由は出たが、「学びへの扉」、そして「学びのカギ」がとても有効であると考えた。</p> <p>もう1点は、各学年に言葉を味わうとして、日本語そのものがもつ言葉の豊かさや美しさに折に触れて目で見ても味わう工夫がなされていたというのも大変興味深く思った。</p>
教育長	<p>○ 意見が一致しているようなので、光村図書を採択することに決定しようと思う。</p> <p>続いて、採択理由についてであるが、今お聞きしていて私も同じ意見をもった。「学びへの扉」など、学習の見通しをもてるというところで、国語の教科書は右から左へ行くが、上から下に流れているスケジュールが視覚的に分かりやすく、工夫が見えるところである。だから、子どもたちにとっても1ページの中でその見通しがもてているので、とても頭に入ってくるという感想をもった。皆さんが言われているように、見通しがもてて、主体的に学べるというあたりが岡山市の子どもたちにとってよりふさわしいと思うので、そのあたりを採択理由としたいと思うが、よろしいか。</p>
全委員 教育長	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ では、続いて、書写についての協議を始めたいと思う。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
教育支援課指導副主査	<p>○ 書写の各社の特徴をご説明する。</p> <p>まず、東京書籍である。巻末の「書写活用ブック」では様々な書式の具体例が紹介されており、生徒が書式に合った適切な書き方について考え、活用することができるという特徴がある。</p> <p>次に、三省堂である。書き込みページが多く、生徒が学習したことを振り返ることができるようになっており、他教科の学習や日常生活等でも活用できるように工夫されているという特徴がある。</p>

<p>教育長 上西委員</p>	<p>次に、教育出版である。「コラム」では文字文化にまつわる様々な資料が取り上げられていることで、生徒が日本の日常生活と文字文化とのつながりを理解することができるという特徴がある。</p> <p>最後に、光村図書である。手書きのよさや文字の使い分けについて様々な表現方法を紹介したり、具体的な場面を設定したりすることで考えを深めることができるようになっているという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p> <p>○ それでは、上西委員、お願いします。</p> <p>○ どれも工夫がされていて、本当に甲乙付けがたいと思ったが、その中でも先ほど説明にあったとおり、書き込みできる部分が比較的多いということと巻末の資料、便箋や封筒の書き方等、我々も勉強になるようなことが書いてあり、さらに学力テスト問題も充実していて、そういう観点から三省堂を推したいと思う。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ 光村図書もとてもよいと思って悩んだが、最終的には三省堂を私も推薦したいと思う。理由は、岡山市の子どもの課題として、漢字、仮名の字形を整えて丁寧に文字を書こうとする意識が低いということがある。三省堂の教科書は3年間一貫して書いて身に付けようというコーナーが設けられていて、自然に丁寧に文字を書くことを意識させるような工夫、仕掛けがなされているところが決め手になった。それ以外にも、書くスペースがゆったりと取られていて、生徒が自然に書いてみようという気になるような工夫が多い教科書と思い、三省堂を推薦したいと思う。</p>
<p>門原委員</p>	<p>○ 私も非常に悩んで、2社選ばせていただいた。先ほどから出ている三省堂で、書き込みページが多く設けられており、学力テスト等の工夫がされ、生徒たちが自主的に対応して取り組んでいける点を評価した。それと同時に、光村図書が「書写活用ブック」というのを別冊で設けていて、本市の課題である書く力を身に付けるという点で工夫されているし、日常に役立つ書式の具体例が若干多くあったので、日常的に活用できると思い、私は2社選ばせていただいた。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 三省堂を挙げさせていただきたいと思う。皆さんも出されている光村図書も私もいいと思ったところがあり、実社会との関連性やデザインまで踏み込んでいるところはとてもよいと思った。三省堂は本当に書写できれいな字を書くというその基本的なところにフォーカスされていて、どこに注意して書けばきれいな字が書けるのかがより視覚的に、具体的に分かりやすく、それを教科書という紙上で上手に表現されているという点においては、この岡山市の子どもの課題に最も適応しているし、それが適切ではないかと考えている。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 門原委員からは光村図書とあったが、皆さん光村図書と三省堂で悩まれたということである。書き込みが大事というところは両社ほぼ一緒で、丁寧に書くという意識をより強く打ち出しているのが三省堂である。そのあたりの理由で三省堂とさせていただきますてもよろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ では、三省堂を採択することにする。理由としては、書き込みが大事ということと、丁寧に書くことを意識させる工夫が非常に優れているところを挙げさせていただこうと思う。</p> <p>よろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 続いて、地理をお願いします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
<p>教育研究研修センター指導副主査</p>	<p>○ 地理の各社の特徴をご説明する。</p> <p>まず、東京書籍である。「もっと知りたい」や「未来にアクセス」のコラムでは、生徒が学習内容を深めたり、今日的な課題について考えたりすることができるという特徴がある。</p> <p>次に、教育出版である。「地理にアプローチ」では、学習を振り返ったり、地図帳の使い方を確認したりできるようになっており、生徒が地図やグラフを進んで活用できるような特徴がある。</p>

<p>教育長 片山委員</p>	<p>次に、帝国書院である。思考ツール活用例や活用方法が一覧になっていることや、各節末の節の振り返りで学習内容をまとめることで情報活用能力が身に付くように工夫されているという特徴がある。</p> <p>最後に、日本文教出版である。各章の導入では生徒の興味、関心を引き出す写真や資料が多数掲載されているとともに、トライやクイズが示されていることで主体的に取り組めるという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p> <p>○ それでは、片山委員から願います。</p> <p>○ 私は、帝国書院を推薦したいと思う。理由は、岡山の子どもたちが地理に対して興味、関心が低いということがあって、まずはとにかく興味をもってほしい、興味がもてる教科書はどれかということを私は見たが、その中で帝国書院は豊富な写真資料と図表がたくさん掲載されていて、どれもイメージを豊かにするのに適切ということと、そういった資料から入れるところや、興味深い資料、身近なものが取り上げてあって、よいと思った。</p> <p>そして、各単元の冒頭で学習課題が示されていて、その課題解決に向かっての豊富な資料も適切に示してあって、その都度、小まめに「確認しよう」や、「説明しよう」のコラムが設けられている。特に「確認しよう」については、文中に示してある内容をじっくり読めば必ず答えが出せるようになっているので、主体的な学習にも取り組みやすいと思った。</p> <p>地図帳の活用についても適宜示されていて、これも地図帳と連動しながら見やすいと思った。</p> <p>もっと学びを進めていく上で、大きくなることとか自分たちが学ぶことがどういう意義があるのかとか、そういったことに少しでもつながっていくものになったらいいという期待もあり、帝国書院を推薦したいと思う。</p>
<p>門原委員</p>	<p>○ 私も同様に帝国書院を推薦したいと思う。事務局が述べられたように思考ツールが充実しているという部分と、ページの下に小学校歴史、公民、他教科との関連が必ず設けられていて、既習事項や横断的学習内容を生徒自身が主体的に確認することができるというところもメリットがあると感じた。簡単ではあるが、その理由で帝国書院を推薦したいと思う。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 同じく帝国書院を挙げさせていただく。理由としては、まず1点目として、社会に出てから地理で学んだことを生かそうという視点がかかなり明確に通っていると感じている。</p> <p>社会のほかの科目でも巻頭でSDGsの考え方や課題が示されて、それぞれの単元とそれを全てひも付けていく形を取られていることや、全体を捉えて「未来に向けて」というコラム、未来や将来に目を向けさせるような仕掛けがなされており、実社会の人々の具体的な話や、現代の課題に向き合うところで主体的に子どもたちが学んでいけるのではないかと考えている。</p>
<p>上西委員</p>	<p>○ 私は、帝国書院と日本文教出版の2社を推したい。</p> <p>帝国書院については、今まで先生方が言われたとおりであるが、新たに加えるのであれば、学習の振り返りである。学習を振り返ろうというところで非常に充実したページがつくられていた。さらに、日本の諸地域の各地方の冒頭のところで特産品などが載った地図が設けられていて、いかに子どもたちに興味をもってもらうか、子どもたちに食いついてもらうかという工夫がされているということで帝国書院がよいと思った。</p> <p>日本文教出版だが、今までの学習を振り返ろうというコーナーが非常に充実していると思った。それに加えて、国別、県別の資料などの図が見やすく、資料が優れていると私は思ったので、日本文教出版も同じように推したいと思う。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 上西委員が両社甲乙付けがたいということだが、帝国書院が4人一致しているということで、帝国書院を採択しようとする。</p> <p>その理由は、日本文教出版も振り返り等が充実し、資料も充実しているが、帝国書院の方が、社会へ出て学び続ける意識をよリモたせているという学びへの意</p>

<p>全委員 教育長 教育研究研修センター指導副主査</p>	<p>欲、興味、関心をもたすための資料の工夫、課題がはっきりしていて、主体的に学べるという岡山市の子どもの課題を上手に授業の中で課題改善に向けていける点が優れているところを挙げさせていただこうと思う。</p> <p>よろしいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 〈承認〉 ○ 続いて歴史の説明をお願いします。 ○ 歴史の各社の特徴をご説明する。 <p>まず、東京書籍である。「まとめの活動」では、生徒が思考ツールを使いながら節の問いを解決し、章のまとめを行う構成にすることで、基礎的、基本的な知識の定着を図ることができるという特徴がある。</p> <p>次に、教育出版である。学習した内容について、SDGsの視点から歴史的事象を捉え直し、自ら問題を発見し、解決していく内容が充実しているという特徴がある。</p> <p>次に、帝国書院である。「アクティブ歴史」では、生徒が3つのステップで課題に取り組むことで、他者と対話したり、自分の言葉で表現したりする力が付くような展開となっているという特徴がある。</p> <p>次に、山川出版である。「地域からのアプローチ」では、生徒が日本の伝統文化を守り、受け継いでいこうとする態度を育てられるような内容となっているという特徴がある。</p> <p>次に、日本文教出版である。「歴史を掘り下げる」では、コラムと資料が掲載されており、生徒が発展的な学習に活用できるようになっているという特徴がある。</p> <p>次に、自由社である。各章末の「時代の特徴を考えるページ」では、それぞれの問題に対する意見、具体例があることで、生徒が考えをもつことができるという特徴がある。</p> <p>次に、育鵬社である。「歴史ズームイン」や「人物クローズアップ」などの特設ページやコラムがあることで、生徒が国際社会における日本の役割を考えることができるという特徴がある。</p> <p>次に、学び舎である。章の導入と見返しページに世界地図や日本地図が掲載されていることで、生徒が我が国と他国の歴史的なつながりを捉えることができるようになっているという特徴がある。</p> <p>最後に、令和書籍である。各章末で時代の特色を政治、文化、外交、産業でまとめる問題が設けられていることで、生徒が自主的に学習を振り返ることができるという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p>
<p>教育長 門原委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ それでは、委員の意見を聞きたいと思う。 ○ 2社考えて、非常に悩んで、帝国書院がよいのではないかと考えた。もう1社は東京書籍である。 <p>帝国書院の「タイムトラベル」というところがあって、見開きの1ページでイラストがあるので、生徒が時代のイメージをし、そこに興味をもっていくことと、そのヒントとして次の場面を探してみようと、興味、関心が起こって、基礎的、基本的な理解、知識の定着が図れる工夫がなされているということが一番興味を引いた。</p> <p>また、先ほど事務局がおっしゃったように、「アクティブ歴史」のところで「整理しよう」、「考えよう」、「表現しよう」という3つのステップをきちんと踏んでいくことで、自分の言葉で表現したり、他者と対話したりということ、そういう力が身に付いていくということが考えられるので、帝国書院を推薦したいと思っている。</p>
<p>石井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私も帝国書院を挙げさせていただきたい。地理と同様に、社会に出てから学校で学んだことを生かそうという視点があると感じている。歴史の教科書でありながら、「未来に向けて」というところでコラムが数多く設けられていて、歴史における出来事というのをテーマで整理した上で、現代にひも付けて考えるきっかけとい

<p>上西委員</p>	<p>うのをつくっていると考える。</p> <p>また、導入部分で使われている「タイムトラベル」、それから今お話にあった「アクティブ歴史」というのは内容的には非常に面白くて、興味をもちながら入っていけるように工夫されていると思う。その他、イラストや写真など、面白さを感じさせるような仕掛けが随所にあると感じる。</p> <p>○ 私も帝国書院と東京書籍で最後まで悩んだ。東京書籍がより優れていると思ったのは、冒頭の探求のステップのところの問い、帝国書院のほうも節の問いという形であるが、問いの内容、問い方が東京書籍のほうが私は優れていると思った。しかし、全体として見るとやっぱり、帝国書院は子どもたちに楽しく興味をもって歴史を勉強してもらおうという意識が非常に強く、「タイムトラベル」の絵と、世界とのつながりを考えようという非常に興味深い絵があった。各章各冒頭に小学校で学んだ人物の絵が入っていたり、子どもたちに歴史に興味をもたせるという一番大切な目標をしっかり意識してつくられていると見たので、悩んだが帝国書院を推したいと思う。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ 私も同じく東京書籍と帝国書院とで最後まで悩んだ。比較をしたところ、東京書籍はどちらかという学んだ課題を忠実に再現するというか、知識を高めていくというところに力点が少しあるのかなと思った。帝国書院は、先ほどから出ている「タイムトラベル」の最初の動機、学習の導入から、資料のところでも「タイムトラベル」から読み取る課題など、割とオープンな問いが多くて、1つの回答を見付けるというよりも、割と色々な回答が出てくることに楽しさ、興味をもてるような形式が多いと思った。</p> <p>また、帝国書院は、アクティブ歴史のところその当時の課題を今の自分が当時の自分に成り代わって考えてみるといった、その当時示された複数の意見を提示して、比較検討することで自分の考えを出すということに取り組めるような仕掛けがしてあって、岡山市の子どもたちは身に付けた知識と資料から読み取ったことを関連付けて表現することに課題があるということなので、オープンにみんなが思いを語り合えるところから興味を深めていったらいいのかなと、最終的には帝国書院を推薦したいと思った。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 歴史は帝国書院で一致しているので、帝国書院を採択しようと思う。</p> <p>理由については、先ほど出たように、「タイムトラベル」等の工夫でまずは子どもにも興味、関心をもたせるという点。また、子どもたちの表現力、考える力や多様な考えで、歴史を学ぶことで今をまた考えてみるという意識付けなどが優れている点で帝国書院を採択ということにしたいと思う。</p> <p>よろしいか。</p>
<p>全委員 教育長 学校指導課指導副主査</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 続いて、公民について事務局から説明をお願いします。</p> <p>○ では、公民の各社の特徴をご説明する。</p> <p>まず、東京書籍である。各単位時間において「学習課題」に対する「チェック＆トライ」が設定されているとともに、「みんなでチャレンジ」では対話的な活動ができるようになっているという特徴がある。</p> <p>次に、教育出版である。「THINK（シンク）！」では、図やグラフなどの多様な資料が掲載されており、生徒がそれをヒントに資料を読み取ったり活用したりできるような構成になっているという特徴がある。</p> <p>次に、帝国書院である。「アクティブ公民」では、生徒が社会参画を疑似体験できるような課題が設定されており、実感をもって学習できるようにすることで自主的に課題を追求できるという特徴がある。</p> <p>次に、日本文教出版である。「学習課題」とそれに関連する見方、考え方が示されており、生徒が学習内容の視点を明確にして学習課題の解決ができるように工夫されているという特徴がある。</p> <p>次に、自由社である。見開きで書き込むことができるスペースが十分確保されていることや文章量が精選されていることで、生徒が学習を効果的に進めることがで</p>

	<p>きるという特徴がある。</p> <p>最後に、育鵬社である。学習内容を多面的、多角的に捉える視点を提示する「学習を深めよう」や調査等を促す「やってみよう」が設けられており、生徒が現代的な諸課題を捉えることができるという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p>
<p>教育長 石井委員</p>	<p>○ 石井委員から願います。</p> <p>○ 帝国書院を挙げさせていただきたいと思う。先ほどから同じことを申し上げるが、公民も含めて、帝国書院は社会に出てから学校で学んだことを生かすところが分かりやすく伝わってきて、興味深いというところをまず挙げさせていただきたい。2点目としては、本質に迫って考える力を身に付けさせようという姿勢がとても強いと思っている。私は企業で働いているので経済分野を中心に見せていただいたが、経済分野のところは自然に経済の本質に迫れるように、無人島に漂着したらという設定でフレームワークが考えられるようになっていて、本当に自分で考えてみたくなるし、本質を追求できるような始まりになっていて、非常にいい内容だと思った。あと、起業にもついて考えさせていくような特設ページがあつて変化の激しい時代に本当に自分の頭で考えて行動する力が身に付けられるという視点が感じられた。</p>
<p>上西委員</p>	<p>○ 私も帝国書院を推したいと思う。地理でも申し上げたが、いかに子どもたちに興味をもってもらうか、いかに分かりやすく説明するかで、どうしても説明が平板になりがちなどところがある。帝国書院が一番よかったのは、国家権力という項目をちゃんと設けて、そこから解きほぐしていつている。国家権力がなぜあつて、でもその国家権力をコントロールしていくためにはどういう歴史的に政府、システムがつくられてきたかを意識して書いていた。私は法律家であるので、そのあたりを興味があつて見てみたが、その中の流れが一番優れていると思う。さらに、少し私が気になったのは人権のところ、自由権と平等権があるが、平等権を先に書いている会社が結構ある。私は違和感があつて、やはり自由権があつて平等権という順番だと思つていて、そういう順番やどこから解きほぐすかが興味深い。そういう観点からも帝国書院は非常に優れていると思った。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ 私も帝国書院を推薦したいと思う。歴史、それから地理に関しても帝国書院が採択されている。公民についても帝国書院の場合、社会3つの教科それぞれ関連するような書き方がなされているので、より学習効果も上がるということもあつて、帝国書院がよいと思う。</p> <p>また、この5部の課題探究学習に向けて、学習内容を自分事と捉えてテーマの構想につながるように、毎時間の章の問いや節の問いが明確に示されていて、この小さな問いの積み重ねが、最終的に自分が何を明らかにしたいのか、探究してみたいのかと最終的に自分の主題を見付け、さらにそれが高等学校での探究学習につながる基盤になるような方向付けがなされていてよいと思った。</p>
<p>門原委員</p>	<p>○ 私も帝国書院を推薦したいと思う。皆さんのおっしゃった意見以外としては、「アクティブ公民」のところで、その疑似体験の触れ方で、具体的にロールプレイング、ディベートといった他者の考えに触れる技法であるとか相手が納得する主張の仕方などを示してあるので、実感を伴って体験ができるということまで具体的に示されていることが非常に工夫されていると思った。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 意見が一致したので、帝国書院を採択したいと思う。</p> <p>その理由については、本質に迫る工夫というか、本当に主体的に子どもたちが学ぶような工夫がされているということ。また、起業等に関する内容もあつて、内容が今の時代に合っているということ。さらに社会に出てその学習を生かすような意識で、ここで学んだら終わりということではなく、社会に出て学習をどう生かすかという意識付けもできている点が帝国書院は優れているということで採択してよろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ では、次に地図について願います。</p>

<p>学校指導課指導副主査</p>	<p>○ 地図の各社の特徴をご説明する。 まず、東京書籍である。世界の各州、日本の各地方の資料が数字だけでなくグラフでも掲載されており、生徒が資料を比較したり関連付けたりしながら考察することができるという特徴がある。 最後に、帝国書院である。ページごとの土地利用の凡例が示されていることや、地域ごとにイラスト入りの鳥瞰図が掲載されていることから、生徒が立体的に地形を読み取ることができるという特徴がある。 以上で説明を終わる。</p>
<p>教育長 上西委員</p>	<p>○ それでは、上西委員からお願いします。 ○ 帝国書院を推したいと思う。鳥瞰図を比べてみたら分かるが、帝国書院のほうがとても親切に作られている。見やすく、しっかり情報が書き込まれているというところで差があると私は思った。 そのほかとしては、資料がどちらもいろいろ出ているが、帝国書院のほうに歴史や宗教に関する資料が少し充実しているという印象をもった。 あとは地図なのでそんなに変わらないが、鳥瞰図や資料から帝国書院を推したいと思う。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ 私も帝国書院を推したいと思う。私も同じで、地図中の配色が非常に明るいので、書き込んであるものがくっきり見えやすく、見てみたいという気持ちになり、主体的な学習を進めやすいと思った。 また、地図で発見というところで、歴史や地理で学習する内容や社会科の学習内容全体について、地図を基に確認したり深めたりするような工夫がなされていて、社会の全体の知識を視覚的に捉えながら地図の中に学習を深められる点がいいと思った。</p>
<p>門原委員</p>	<p>○ 私も帝国書院を推したいと思う。「地図で発見」という項目があるが、そこで学習内容を確認したり深めたりするコーナーの質問が的確で分かりやすく、生徒が主体的に解決に向かう工夫がなされている。例えば1つ答えるのではなく、2つ答えようと、複数の視点から回答を求めるといった問いがなされているということは非常に価値があると思って拝見した。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 帝国書院を挙げさせていただきたいと思う。前回、4年前の採択のときには他社を挙げさせていただいた。そのとき帝国書院は世界の先端企業の紹介で、ソフトウェアの売上高を基にIBMの会社が一番であるとしていた。ソフトウェアの売上高はいいが、世界の最先端企業がIBMというのは違和感があると申し上げ、その評価はおかしいのではないかと指摘した。その際、時価総額などで見たほうがいいのではないかと申し上げた。私が言ったからではないと思うが、今回見てみると、時価総額の順番が変わっていて、柔軟に対応されているなというところを拝見させていただいた。 それ以外のところは皆さんおっしゃったとおりで、活用の幅が帝国書院のほうに広いと感じている。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 皆さん一致であるので、帝国書院を採択したいと思う。 理由については、鳥瞰図が配色的にもデザイン的にも見やすいという点が1つ。 また、多様な考え方をもちこたせる工夫がなされているという点、そして、資料が充実している点で帝国書院とさせていただいてもよろしいか。</p>
<p>全委員 教育長 教育支援課指導副主査</p>	<p>○ 〈承認〉 ○ 続いて、数学に入る。 ○ では、数学の各社の特徴をご説明する。 まず、東京書籍である。「深い学び」を扱うページでは、問題解決に向けて必要な数学的な見方、考え方を生徒が捉えやすくなるように工夫されているという特徴がある。 次に、大日本図書である。様々な分野の実際のデータが多数取り上げられており、生徒がデータ活用の有用性や必要性を実感できるような内容となっているという特徴がある。</p>

	<p>次に、学校図書である。「ふりかえり」では、既習事項を確認できる側注や二次元コードが設けられており、基礎的、基本的な知識を図る工夫がなされるという特徴がある。</p> <p>次に、教育出版である。各学年の数学の広場の中に発展が掲載されており、生徒が興味、関心をもって章の学習を深めることができるという特徴がある。</p> <p>次に、啓林館である。学習内容に関連する題材、「話し合おう」や、問題を解く過程を説明する「説明しよう」が設定されていることで、対話的に学びを深めることができるという特徴がある。</p> <p>次に、数研出版である。各学年の裏見返しのページには、見開きで「学びの自己評価」が掲載されている。生徒が自分の学びを振り返ることで効果的に学習を進められるという特徴がある。</p> <p>最後に、日本文教出版である。巻末の「振り返りシート」を生徒がノートに貼って使用することで、知識及び技能の定着を図ることができるようになっているという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p>
<p>教育長 片山委員</p>	<p>○ では、片山委員から願う。</p> <p>○ 私は啓林館を推薦したいと思う。理由は、数学嫌いというのをできるだけ減らして、主体的に数学に取り組んでくれる生徒が育つといいという視点で見たときに、啓林館は各章の冒頭に身の回りの問題や数学の関連する問題を取り上げて、それを学習への興味と関心につなげ、内容につなげていくという点で非常に親しみやすいというか、興味をもって入りやすいと思った。それが、スリーステップで積み上げて、生徒の問題発見や解決する力が最終的に身に付いていくというような仕掛けがなされていると思った。</p> <p>また、特に誤答例というのが幾つか示されていて、正しい答えを導くだけでなく、どこで違ったのだろうかというのが示されていて、そこから問題点を考えるというのがこの啓林館の教科書にはあり、間違ふお子さんでも、しっかり間違いを正すというか、そちらから学びにつながっていく学習法にもつながると思った。</p> <p>以上から啓林館を推薦したいと思う。</p>
<p>門原委員</p>	<p>○ 私も啓林館を推薦したいと思う。生徒の興味、関心を高める工夫がなされているという点で、特に1年時の導入のところで説明がとても丁寧な書いてあった。例えば表現の仕方、深め方、ノートの取り方など、ただ数学的な問題を解くというのではなくて、どのようにすればいいかという手立てが具体的に示されている点がとてもよいと思った。また、「話しあおう」や「説明しよう」など、今求められている協働的な学びや教え合いなども工夫されている点もよいと考えた。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 啓林館を挙げさせていただければと思う。私は、数学についてはどちらかという教科書をどれにするかというよりかは、デジタル教育の活用をどうやって効果的にやっていくのかということの影響度のほうが、数学全体の力を付けていく上で非常に大事になっていると感じている。先生がそれぞれの生徒の状況を小まめに把握でき、習熟度別にしっかりフォローをしていくという仕組みが非常に大事なのかなと思う。そういった意味で教科書を見ていったときに、啓林館は自由度が高いと思う。教科書自体、ほかの教科書と比べると圧倒的に薄いということがあって、あまり余計なことがされてないという印象を受けている。そういう意味で先生の自由度が高くて、その分先生にそのデジタル的な活用のところも含めた総合的な授業の推進が委ねられる部分が強いのかもしれない。そういった連携も含めて、啓林館とそのデジタル教育で進めていくのがいいのではないかと考えている。</p>
<p>上西委員</p>	<p>○ 徐々に数学の勉強をさせていただいて、各社しっかり見させてもらったが、面白くて、例えば素数の定義が各社で違う。1つ決まった定義を使っているのかと思ったら各社違って、非常に面白く読ませてもらった。</p> <p>私が見たポイントは、どちらの説明が分かりやすいかということに尽きる。1つ挙げると、例えば中学1年生の方程式のところでも等式の性質というところの説明があって、移項という形に移るのだけど、そのつながりや流れをきちんと説明し</p>

<p>教育長</p>	<p>ている会社と、少し説明が不十分で飛んでいるように見える会社があった。きちんと説明していると思ったのが啓林館と日本文教出版であった。この2社はその説明をしっかりとつないでいると思った。学校の先生が教えるのかもしれないが、教科書を見て、そこをきちんとつなげて、つながりがあるのだということをしっかりと教えているというところ、これは1つの論点だが、他のところにもそういうところがあり、説明がしっかりしているというところでのこの2社を私は推したいと思う。</p> <p>○ 上西委員が2社推されたが、啓林館は4人の委員さんが一致しているので、啓林館を採択したいと思う。</p> <p>内容については、身近な課題から数学への関心をもつという点。また、協働的な学びの工夫ができて、主体的な学びにつながっている点。そして、説明など、非常に分かりやすい内容となっているという点で啓林館を採択したいと思う。</p> <p>よろしいか。</p>
<p>全委員 教育長 学校指導課指導副主査</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、理科の説明をお願いします。</p> <p>○ 理科の各社の特徴をご説明する。</p> <p>まず、東京書籍である。単元末、社会につながる科学では、生徒が学習内容を日常生活や伝統文化に結び付けて考えるとともに、自身のキャリアと結び付けられるようになっているという特徴がある。</p> <p>次に、大日本図書である。単元導入にこれまでに学習したことが見開きで掲載されており、既習事項を確認することで生徒が効果的に学習を進められるという特徴がある。</p> <p>次に、学校図書である。「理路整然 探究の進め方」では、探究的な学習の進め方や振り返りの仕方などが示されており、生徒が主体的に探究を進められるように工夫されているという特徴がある。</p> <p>次に、教育出版である。「探究の進め方」が折り込みでまとめられており、そのページを開いて参考にしながら探究の各過程に取り組めるように工夫されているという特徴がある。</p> <p>最後に、啓林館である。「探Qシート」と「探Qラボ」が各領域に1つずつあり、各単元の学習内容を基に生徒が主体的に取り組むことができるようになっているという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p>
<p>教育長 門原委員</p>	<p>○ それでは、門原委員、お願いします。</p> <p>○ 私は、2社推薦をさせていただく。</p> <p>まず、1社目が東京書籍である。本市の生徒は、自ら自然の事物、現象から課題を設定して、実験、観察を通して課題解決に向けた探究的な学習を進めることに課題があるというところで、東京書籍の場合は常に課題、仮説、実験、結果、考察、活用、振り返りという一連の学習過程が決まっており、生徒が主体的に探究を進めることができるのではないかと思います。また、全体的に文字の強調や写真の大きさなど、紙面構成が分かりやすく、生徒も興味、関心をもって学習できるのではないかと思いますという点で東京書籍を考えた。</p> <p>もう1社は啓林館で、同じように探究のところに注目してみると、先ほど事務局も言われたが、探究実験、「探Qシート」、「探Qラボ」など、常に探究を意識した学習活動がなされているという点で、こちらも生徒が主体的に取り組むことができると考えている。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 全く一緒に、啓林館と東京書籍で、2社挙げさせていただきたいと思う。</p> <p>啓林館は、間違いやすいところを正しく理解するポイントを示していたりするところも丁寧に内容になっていて、コラムも多く掲載されていて、主体的な学び、内容になっているところもいいところと思うし、つながる、学び、つながるページのところも、算数や数学とのつながりもあると思っている。</p> <p>東京書籍は、思考のフレームワークというのがとてもしっかりしていて、それは大人になっても役に立つと思う。また、「社会につながる科学」で、自身の生活や</p>

<p>上西委員</p>	<p>今後のキャリアと結び付けるような内容というのが非常に興味も湧くし、自分自身のこととして学びを深めていける内容になっている。さらに、東京書籍は全体的に写真や全体構成も見やすく、いい教科書と思った。</p> <p>○ 私は啓林館を推したいと思う。どの会社の教科書も図や写真が多くて、一步間違うと見にくくなるというところがあるのだが、啓林館は、本文の字が圧倒的に大きい。本文のレイアウトがかなり意識されて安定していて、開いたページの両端に図や資料があつて、本文は内側に大体まとめていて、非常に安定して読みやすい、ばらばらしていないというところで、これはレイアウトの勝利だと私は思った。以上で啓林館を推したいと思う。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ 私も啓林館を推薦したいと思った。見やすさという点でも私も非常に同感で、絵ではなくてできるだけ実写化してあるというところも現実に興味、関心がもちやすいと思った。</p> <p>また、導入、学習課題、探索または実験、まとめというふうになっているけれども、その中でアクションのほうでは各節で学んだ知識を活用して別の場面に当てはめて考える。そして、レビューのほうでは学んだことを確実に定着させる。アクションのほうは、それを今度は別の場面に当てはめるということで、その知識の定着とそれを広げていくということの両者が確実にバランスよく配置されている。</p> <p>さらに、探究実験のところ、探究することが岡山市の子どもたちは少し課題があるということだったかと思うけれども、最初から実験の方法が書かれていないのが面白い。そこを自分たちで考えを巡らせられるような設定になっていて、課題に対する仮説を立て、実験計画を試みるなど、いわゆる科学的な思考のスキルを習得するのには、とても楽しみながらできるのかなというところから、最終的に啓林館が当市の課題に適したテキストとして、推薦したいと思った。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 2名、東京書籍があつたが、4名の方が啓林館を推薦されているということもあり、啓林館を採択しようと思うが、内容的にはどちらも、岡山市、全国の課題かもしれないけど、子どもたちが探究的な学びができるかどうかというところで、それぞれ両社とも工夫がされていると思うが、意見をお伺いする中で、見開きのレイアウトあるいは文字が読みやすい、写真のバランスがいいというあたり、また、つまずきやすいところを丁寧に説明していたり、他教科とのつながりが分かりやすい、さらには、「探Qシート」、「探Qラボ」などの工夫があるということで啓林館を採択したいと考える。</p> <p>よろしいか。</p>
<p>全委員 教育長 学校指導課指導副主査</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、続いて、音楽一般のほうの説明をお願いします。</p> <p>○ 音楽一般の各社の特徴をご説明する。</p> <p>まず、教育出版である。「Sing! Sing!」では、歌唱教材の楽譜とともに、体の使い方や発音の工夫を段階的に行えるよう示されており、歌唱技能の確実な定着を図ることができるという特徴がある。</p> <p>次に、教育芸術社である。「学びのコンパス」では、音楽を形づくっている要素が示され、知覚したことと感受したことを歌詞の内容や表現の工夫につなげることができるようになっているという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p>
<p>教育長 石井委員</p>	<p>○ それでは、石井委員からお願いします。</p> <p>○ 教育芸術社を挙げさせていただきたいと思う。岡山市の子ども達の課題である知覚と感受を結び付けることの課題について、選定資料にもご説明いただいているとお伺い、その課題解決が図られている点と、あとは具体的にみていったときに、発声やリズムなどの基礎内容がその都度学べるように仕掛けられていたり、歴史や音楽と今生きる社会をつないで、音楽の果たす役割や魅力というものを伝えているのと、全体としてデザイン、写真、イラストが見やすかった、興味をもって進められると感じた。</p>
<p>上西委員</p>	<p>○ 私も教育芸術社を推したいと思う。どちらも非常に工夫がされている。非常に悩</p>

	<p>ましいところだったが、私のような音楽が苦手な人間から見ると、教育芸術社の最後の「音楽の約束」という形のページが設けられていて、そこでいろいろ記号や用語が説明されている。このことが途中のページで、例えばピアノシモが出てきたときに、ここのページを引用できるような形で記載がされていて、より親切と私は思った。</p>
片山委員	<p>○ 私も教育芸術社を推薦したいと思う。理由は、1つは見やすいということと、また各教材の横に問かけというのがある、そこでどういうことが学習のポイントかということが明確にされる中で、そこから自分がどんなことを思うかとか、そういったことを自由にお互いに思ったことを表現し合えるというところで、何か自由な発想で人と主体的な学びの中でつながっていきなり、自分の特性や自分の感じ方をまた理解したりとか、そういったところから音楽に親しんでいけるような仕掛けが非常によいと思った。</p>
門原委員	<p>○ 私も教育芸術社を推薦したいと思う。本市の子どもの課題である知覚したことと感受したことを結び付けることに苦手意識があるという部分に関しては、「学びのコンパス」のところに注目するポイントというのがある、それを参考にしながら、その要素や仕組みを知覚して、そのよさを感じ取ることができる、そのような工夫がなされている点が良いと感じた。</p>
教育長	<p>○ 4人とも一致しているので、教育芸術社を採択したいと思う。いずれの委員もおっしゃったが、岡山市の課題であるところの解決が図れそうな工夫がされている。例えば知覚と感受の件の工夫。また、音楽の知識が十分ではない点もあるので、そのことにも工夫がなされている。そして、デザイン等のバランスが良いというあたりが優れているというところではないかと思う。</p>
全委員 教育長 学校指導課指導副主査	<p>よろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、続いて、音楽の器楽の説明をお願いします。</p> <p>○ 音楽、器楽合奏の各社の特徴をご説明する。 まず、教育出版である。巻末にはギターコードの押さえ方が写真で掲載されており、生徒が基礎的、基本的な技能を段階的に習得しやすいような構成となっているという特徴がある。 次に、教育芸術社である。「学びのコンパス」では、パートの役割や音の重なり方について考えたことを演奏に生かす活動が設定され、表現力を高められるように工夫されているという特徴がある。 以上で説明を終わる。</p>
教育長 上西委員	<p>○ それでは、上西委員からお願いします。</p> <p>○ 私は教育芸術社を推したいと思う。理由は、先ほどと同じで、最後の巻末の「音楽の約束」という資料が私としては、苦手な人間にはありがたいなというところで、非常に工夫されていると思った。</p>
片山委員	<p>○ 私も教育芸術社を推薦したいと思う。その理由は、まず岡山市の子どもの課題に、よりよい音楽を演奏したいという思いや意図をもつことや音楽表現の技能を高めようということがある。こちらの教科書だと楽器ごとに演奏を聴こう、楽器を知ろうということから導入されていて、楽器への関心が高まるような工夫がなされ、そこから徐々に楽器の名称や演奏の仕方というように段階的に奏でる方向へ、演奏の方向へ向けていくというところがいいと思った。また、本市の課題に即しているのではないかとということ、演奏のページでは基本的な奏法を写真等で分かりやすく示していて、演奏の上達の段階別に気が付けるような練習のポイント等が非常に視覚的に分かりやすく構成されていて、よいと思った。</p>
門原委員	<p>○ 私も教育芸術社を推薦したいと思う。技法に関しては個人差が大きいと思うが、その奏法の取り組み方など、段階的に技能を習得できるようにされていることなど、「Q&A」では生徒が陥りやすい疑問などに丁寧に答えてあるので、物事に関して苦手意識をもたないで、意欲、関心をもって取り組めるのではないかとあって、推薦したいと思っている。</p>

石井委員	<p>○ 教育芸術社を挙げさせていただきたいと思う。一番の岡山市の子どもの課題の意欲をもってやるということについて言うと、私個人的には両方教科書を見させていただいて、苦手だからなのかもしれないが、あまり意欲が湧いてこない。そのため、もっと魅力的だったらいいのになどというのが正直な感想ではあるが、その中でも教育芸術社は確かに見開きの入りなど、何かちょっと興味が湧いてくる内容であったり、もう1つの課題の読譜力に対応している部分というのがきちんと説明や表現が上手にされていると思った。</p>
教育長	<p>○ 4名とも教育芸術社を推薦されたので、教育芸術社を採択することにする。岡山市の子どもの課題である読譜力や表現などについて工夫がなされているということ、知識を身に付ける工夫もなされている。そして、音楽が苦手な子にも対応できる工夫が随所にされているという点が優れているかと思う。</p> <p>そういった点で教育芸術社を採択することによってよろしいか。</p>
全委員 教育長 教育支援課指導副主査	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ では、次に美術をお願いします。</p> <p>○ 美術の各社の特徴をご説明する。</p> <p>まず、開隆堂である。表紙に加工が施されていることや、第1学年の導入で小学校の図画工作から中学校の美術へのつながりが示されていることで、生徒が意欲的に学習に取り組めるという特徴がある。</p> <p>次に、光村図書である。描画材や技法をまとめた「美術1資料」が別冊になっており、表現と鑑賞の基礎、基本を一体的に学べるような内容構成になっているという特徴がある。</p> <p>最後に、日本文教出版である。各学年の発達段階を踏まえて、絵や彫刻、デザイン、工芸、鑑賞の題材がバランスよく配列され、系統性にも配慮されているという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p>
教育長 片山委員	<p>○ それでは、片山委員からお願いします。</p> <p>○ 私は、開隆堂と日本文教出版とで非常に悩んだ。特に美術というのは作品が出来上がると上手下手というのがすぐに見えてしまうところがあって、なかなか表現意欲というものは、発揮したものの評価が難しく、出来栄えにこだわってしまうようなところがあるという中で、市の子どもたちが思いや意図をもって表現することに苦手意識があるということなので、できるだけ表現意欲を大切にするという視点で、いろいろなものがあるといい、いろいろなものを見ながら自分の発想を生かしていける教科書はどちらかという視点で見させていただいた。</p> <p>甲乙付けがたかったが、日本文教出版のほうが見開きページで「鑑賞の入り口」というのと「造形的な視点」と、「表現のヒント」というのがとても視覚的に見やすく示されていて、自分の発想を広げていくという視点で少しよいと思った。</p> <p>一方で、どちらの教科書にも示されていたが、作者の言葉というのが、その表現をされた言葉が、自らの発想をどういうふうにかかして構想していけばいいのかという視点があって、そこがどちらにもあって、決めがたいなという思いがあったけれども、最終的には日本文教出版が各単元での学びも目標も明確で、その過程も丁寧に示されている点から、日本文教出版を第一に推薦をしたい。</p>
門原委員	<p>○ 私も日本文教出版を推薦したいと思う。「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」というのが表現と鑑賞を一体的に捉えることができるということとか、目次のタイトルが非常にすてきというか、興味深いタイトルが書かれていて、こう入っていきたくないなというところ、勉強してみたいなというところに興味を覚えた。</p> <p>開隆堂は、今回の表紙を立体的にされている点は非常にすばらしい。本当に触って、本当にまず自分が手で触って感じ取って、そこから入っていけるという点では非常に興味深く、価値が高いことだということは感じた。</p>
石井委員	<p>○ 日本文教出版を推させていただきたいと思う。前回のときに日本文教出版は1年生の美術はフェルメールの作品が一面に載っている教科書だったような気がして、あれはよかったと思った。</p>

	<p>開隆堂は立体の表紙はよいと思った。内容的に見たときに、競う美術じゃなくて、それぞれの方向性に応じた美というものをつくっていきこうという展開がされている点は私も非常によいと思った。この最初の見開きのところも、「あなたの美を見つけて」というタイトルが付けられていて、そういう意図を感じるものであった。</p> <p>また、ビジネスの世界においてデザインというのはとても重要視されてきているが、その美術の学びというのが人生や社会で役に立つものになるなど、大きな役割を果たしているということがとても感じやすい内容になっていて、魅力的で取り組みたいと思う内容だった。</p>
上西委員	<p>○ 私も日本文教出版を推したいと思う。造形的な視点や表現のポイント、作者の言葉、これらを通じてどう見たらいいのか、こういうふうに見たらいいのかなどと、うまく示していると思う。</p> <p>この造形的な視点等も色遣いも非常によく、このポイントがあるおかげで全体が見やすくなっていると私は思った。</p>
教育長	<p>○ 美術も日本文教出版で一致をした。日本文教出版を採択したいと思う。</p> <p>内容的には、それぞれ結果や出来栄ではなくて、個性を認めるというか、多様性を認めるというか、それぞれ個性があつていいという論調の中で作品づくりができる。あるいは見開きで学びの道筋、学び方が分かりやすく、鑑賞の入り口や造形的な視点も工夫されていて、子どもたちが学びやすい。タイトルも学びやすい。こういったあたりが日本文教出版社の優れた点と考える。</p>
全委員 教育長 保健体育課係長	<p>よろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、保健体育の説明をお願いします。</p> <p>○ まず、東京書籍である。保健体育の学習方法では、生徒が自ら課題解決に向けて考える力を育成するための様々な活動例が掲載されているという特徴がある。</p> <p>次に、大日本図書である。見開きページを1単位時間分とし、左のページに本文、右ページに資料を配置した紙面構成となっており、生徒が学習を進めやすいように工夫されているという特徴がある。</p> <p>次に、大修館書店である。「用語解説」では学習した基本的用語の解説とページ数が掲載されており、生徒が既習事項を活用することができる配置になっているという特徴がある。</p> <p>最後に、Gakkenである。学びたいことや学んだことを文字だけではなく絵や写真で表現することができるスペースが適宜配置されており、生徒が表現する方法を選択できるようになっているという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p>
教育長 門原委員	<p>○ 門原委員からお願いします。</p> <p>○ 私は東京書籍を推薦したいと思う。1時間の学習過程が非常に明確で、生徒が主体的に学習に取り組める工夫がなされていることと、活用に加えて広げる場面が設定されていて、日常生活への応用がされていることから、本市の子どもの課題である、現在及び将来にわたって健康な生活を送ろうとする意欲をもちにくいという部分に対応しているのではないかと考える。</p>
石井委員	<p>○ 大日本図書を挙げさせていただき、ご説明いただいたとおり、見開きのページが工夫されていて学習しやすいという点もそうであるし、図やグラフ、絵、写真など資料が多く示されていて、興味をもって進めていきやすいという点を挙げさせていただく。</p> <p>また、各章で設けられた学びを生かそうというところの箇所が実社会とひも付けられている点がいいと思った。</p>
上西委員	<p>○ 東京書籍とGakkenで悩んだ。Gakkenは、見開きなどがとてもよかったが、「エクササイズ」というコーナーがあつて、「エクササイズ」、「課題の解決」とあるが、あまり解決になってないところがあつて、何でこういう表題にしたのかちょっと不思議だった。</p> <p>一方、東京書籍は非常にシンプルで、見付ける学習課題、課題の解決という形で、</p>

<p>片山委員</p>	<p>表題と内容が一致していて非常に分かりやすい、見やすいというところで差があると私は最終的に判断して、東京書籍を推したいと思う。</p> <p>○ 私も東京書籍を推薦したいと思う。理由は同じようなことだが、非常に学習と日常生活の往還というのを意識されていると思った。特に多感な時期の心や体の問題を扱っている章では、自分たちの気になることにどう向き合うか、知り得た知識を基に悩んでいる友達にどう関わるかなど、具体的な事例を基に自分事として学習した内容と日常をつなげ、考える学習教材が非常に豊富に含まれていると感じられたので、東京書籍を推薦したいと思う。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 意見が分かれたので少し議論にしたいと思うが、観点としては学習過程のこと、見開きで大日本図書も分かりやすいという点、あるいは日常生活と結び付けているという点はどちらもあるのかと思ったが、そういう観点で見たときにそれぞれ東京書籍、大日本図書、何か追加で意見がおありの方はお願いしたいと思う。</p> <p>東京書籍も見開きになっているのか。</p>
<p>上西委員 石井委員 教育長 上西委員</p>	<p>○ 全般的に全部見やすい。</p> <p>○ 見やすい。</p> <p>○ デザインや構成が上手に配置してある。</p> <p>○ つながりがいいと思う。きちんとつながっている。あれは何だ、この表題は何だというのがあ。やはり表題や目次はとても重要で、そこできちんと見て分からないといけない。</p>
<p>門原委員 上西委員 教育長 石井委員 教育長</p>	<p>○ 生徒自身が何を自分がしているかということを知って学習につなげる。</p> <p>○ その流れがうまい。散らないというか。</p> <p>○ 石井委員、いかがか。</p> <p>○ よろしい。</p> <p>○ では、東京書籍を3人推薦されているので採択しようと思う。先ほど追加であったが、まずは子どもたちが学びやすい学習過程というのが東京書籍は分かりやすいということが1点。また、学習と日常生活の結び付きが分かりやすい、広がりもてるという点を言われたと思う。そのあたりで東京書籍のほうが優れているということで採択したいと考える。</p> <p>よろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、技術について審議したいと思う。</p> <p>説明をお願いします。</p>
<p>教育研究研修センター指導副主査</p>	<p>○ 技術の各社の特徴をご説明する。</p> <p>まず、東京書籍である。問題解決例では、問題を見つけて課題を設定する流れがイメージしやすいように3コマ漫画が示されており、生徒自らが問題解決に取り組めるという特徴がある。</p> <p>次に、教育図書である。章項目ごとに目当てとキーワードが示され、スモールステップで学習することで知識及び技能の定着を図ることができるという特徴がある。</p> <p>最後に、開隆堂である。身に付ける内容について適切な図や表が多く用いられており、視覚的な学習支援を促進することで生徒の知識及び技能の定着を図ることができるという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p>
<p>教育長 石井委員</p>	<p>○ では、石井委員からお願いします。</p> <p>○ 東京書籍を挙げさせていただきたいと思う。自分が中学生のときに技術をどう捉えていたかという、受験の科目の3科目や5科目以外の科目でどこまで自分が主体的にこれを学んだらよいのかというのをとても悩んだという経験があって、そのときに技術の先生が何で技術を学ぶかという問いかけをしていただいたのが非常にうれしくてよかった記憶がある。技術は昔よりさらに幅が広がってきて、最先端分野というところが技術によって支えられて、そこで働いている人がとても活躍しているというのが大事になってきている。そこがきちんと紹介されてい</p>

	<p>て、技術を勉強したいと思わせる内容になっていて、よいと思った。</p> <p>また、東京書籍の思考のフレームワークがきちんとしていて、問題発見して、計画、製作して、そこを修正して、また新たに発見していくというそういう技術の考え方というのが出ているのもよい点で、実生活に関連して探究できるようになっているところもよいと思った。</p>
上西委員	<p>○ 東京書籍を推したいと思う。各社の情報量が非常に多くて、少し見ていて疲れるような内容だが、東京書籍は、先ほど事務局からの説明があったように漫画や吹き出しを使っている。どの会社も使っているが、より多くて上手に使っている。その結果、情報量が多いながらも少し見やすくなっていると私は感じたので、東京書籍を推したいと思う。</p>
片山委員	<p>○ 私も、本当に技術はとても進化している教科ということを今回学ばせていただいた。その中で学習の見通しということで、3コマ漫画のお話を先ほどしていただいたけれども、問題解決例から最終的な評価、改善、修正、そして新たな問題の発見というプロセスの骨組みが非常にしっかりしていて、問題解決に取り組む工夫もなされていると思った。同じく学習のまとめも、それに沿って用語の知識から最終的には日常生活に生かすような学習の取組に仕掛けがなされていた。</p> <p>また、とても驚いたのが、「すごいぞ！技術」というところで、最先端の技術とその匠の方が写真入りで紹介されていて、それが男性の方も、女性の方も、若い方も年齢を重ねられた方もいろいろな方がいて、その中から自分を重ねて、将来自分は何をしてみたいかというキャリア教育というか、何かそういうことにつながるような可能性が秘められているような教材にとっても魅力を感じた。よって、私は東京書籍を推薦したいと思う。</p>
門原委員	<p>○ 私も東京書籍を推薦したいと思う。先ほどから出ている問題解決例のところ、3コマ漫画を用いて興味、関心をもたせて、そのプロセスも丁寧に示されていることで、生徒自らが自分で問題解決に取り組むことができるということ、教科書の構成と使い方が示されていて、学習の流れが明確であるところが私はよいのかなと思った。</p>
教育長	<p>○ 4名とも東京書籍を推薦されているので、東京書籍を採択することにする。</p> <p>3コマ漫画などの工夫で学習の見通しがもてて、主体的に学べる工夫がなされていること。また、それらについて日常生活と結び付けるような工夫もされていること。そして、最先端を支える技術についてきちんと触れられていて、子どもたちが意欲をもったり将来の職業観をもつために充実しているという点で東京書籍を採択しようと思う。</p>
全委員 教育長 教育研究研修センター指導副主査	<p>よろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、次に家庭の説明をお願いします。</p> <p>○ 家庭の各社の特徴をご説明する。</p> <p>まず、東京書籍である。学習の導入にある「レッツスタート」に取り組むことで、生徒が小学校の学習や日常生活を想起しながら学習課題を考えることができるという特徴がある。</p> <p>次に、教育図書である。口絵では日本の年中行事や世界の衣食住の特徴について示されており、生徒が郷土や世界の伝統文化について興味をもつことができるという特徴がある。</p> <p>最後に、開隆堂である。「調理方法Q&A」では、「なぜ～なのか」と問いかけることで生徒の興味や好奇心を引き出し、科学的な根拠に基づく確実な知識、技能の定着につなげられるという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p>
教育長 上西委員	<p>○ それでは、上西委員からお願いします。</p> <p>○ 東京書籍を推したいと思う。説明があったが、「目標、レッツスタート、学習過程」と、これは先ほどの科目でも言ったが、流れが非常に分かりやすく、そこは差があると思った。それに加えて学習のまとめである。これが一番東京書籍が充実し</p>

<p>片山委員</p>	<p>ていた。振り返り等にもしっかり使えると思ったので、東京書籍を推したいと思う。</p> <p>○ 私も東京書籍を推薦したいと思う。岡山市の子どもは、生活のデジタル化等の影響により生活体験が十分でなくて、実生活と結び付けての知識や技能を正しく習得することに課題がある。この点について、東京書籍の場合、非常に実生活と結び付けようという工夫が、写真や素材、繰り返し学習のプロセスの中でも思考過程の中でも、具体的に自分たちの生活をイメージできるような仕掛けがなされていて、このあたりの課題に即した教科内容になっていると思った。また、最終的には様々な視点での学びの要素を生かして、今度は自分たちで実生活に生かすということも含めて学びが工夫されていて、本市の課題に即してよいと思った。</p>
<p>門原委員</p>	<p>○ 私も東京書籍を推薦したいと思う。これは先ほどから言っている教科書の構成と使い方、学習の流れが明確であるという点は一致していて、それに加えて「レッツスタート」から始まって、最後に自分の生活を振り返って、そして課題意識をもっていくということでのめあてにつなげることができるという点でも創意工夫がされていてよいと思った。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 東京書籍を挙げさせていただきたいと思う。ご説明にもいただいたとおり、学習の導入部分が優れている点と、それから何回も明示的に示されていて、実生活や社会に出たときに役に立つと思った。</p> <p>また、構成を見てみると、他社は家族、家庭生活から始まって、衣食住、消費、生活環境となっているが、東京書籍は、これはガイダンス的ではあるが、最初が未来につながる家庭分野、それから食生活、衣食住という順番が他社と違っている。前回のときは他社のほうがいいと思ったが、今回構成を若干変えられたような気がするが、この構成のほうが入っていきやすい。学んでいくときに、進めやすいと感じた。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 東京書籍で意見が一致したので、東京書籍を採択したいと思う。</p> <p>学習過程の流れが分かりやすく、主体的に学びやすいという点、復習のまとめが実生活に結びつきやすく充実している点、単元の工夫についても、子どもたちが入りやすい工夫がなされている点で東京書籍が優れているということで採択したいと思います。</p> <p>よろしいか。</p>
<p>全委員 教育長 学校指導課指導副主査</p>	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 続いて、英語の説明をお願いします。</p> <p>○ 英語教科用図書について説明する。</p> <p>まず、東京書籍である。実生活に即した場面設定がされており、生徒がコミュニケーションの必然性を感じながらやり取りをしたり、書いたりできるという特徴がある。</p> <p>次に、開隆堂である。単元で学習した内容について、生徒が文章を再構築したり情報を加えたりすることで自分の言葉で表現する力を高められるという特徴がある。</p> <p>次に、三省堂である。それまでの単元で学習した内容や表現を活用して取り組むことができる言語活動が設定されており、領域を統合した言語活動を行うことができるようになっている。</p> <p>次に、教育出版である。各単元の文法事項を補足するために、生徒が聞いたり書いたりする学習過程を通して基礎の定着を図ることができるという特徴がある。</p> <p>次に、光村図書である。学習内容に関連した図やグラフが掲載されており、資料の読み取りを通して生徒が既習事項を活用できるような工夫がなされているという特徴がある。</p> <p>最後に、啓林館である。各パートの本文に関連する問いに基づいたやり取りを通して、生徒の即興で伝え合う力が育成されるという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p>
<p>教育長 片山委員</p>	<p>○ それでは、片山委員からお願いします。</p> <p>○ 私は三省堂を第一に推薦したいと思った。その理由だが、1点目が中学校に入る</p>

	<p>前の小学校での学びが非常にしっかりと復習できるような内容にページが割かれているという点である。小学校の学習は、最近とても難しいという印象で、そういったところではつまづきをしないように、しっかりと復習できるところが自習もできるようになっていてよいと思った。デジタルも出してくださっているが、テキストでもそのように思った。</p> <p>また、各レッスンで示されているシーンが生徒の興味を引く内容であって、自分事として教材に入り込みやすく、何をここでするのかという学習の目標よりも、すんなりそのトークの世界に入っていくところで表現の定着が不十分であってもコミュニケーションの手段として英語に入っていく動機が割と取り組みやすく示されていると思った。そこに入った後でレッスンの最初の「Goal Activity」というところで示されていて、まずやり取りに入って、その後何かということが示されて、最終的には見通しをもって学習に取り組めると思った。</p> <p>以上から三省堂の教科書を第一に推したいと思った。</p>
門原委員	<p>○ 私も三省堂を推薦したいと思う。いろいろ理由はあるが、最初に「Goal Activity」というのを示されていて、ここは何を目指しているのかということが単元の初めに示してあるので、生徒はそれに向かって何を学習していけばいいかということが単元を通して分かっていて、最後にそのチェックをしていくということで、それはとても大事なことと思う。見通しをもった学習ができるということ、それから自分で最終的にそれをチェックできているかどうかということも確認できる部分で三省堂が優れていると思った。</p>
石井委員	<p>○ 三省堂を挙げさせていただきたいと思う。生かせる英語というか、勉強上の英語も大事だし、本当の実生活で使える英語というのも大事だろうと思うけども、そういった点で実生活によくある場面を想定した活動で入りやすく設定されているのは三省堂だと思った。</p> <p>また、日本文化の取上げ方、それも海外から必ず聞かれることではあるが、日本文化の取り上げ方も上手にされていると思った。</p> <p>さらに、発音チェック機能というのが新しい試みで付けられていて、これが完璧なチェック機能なのかどうなのか、自分もその能力がないからあまり分からない部分もあるが、新しく学習がしていける、教室にいるとみんながいて恥ずかしくてできない部分も、場合によっては真剣に取り組むのであれば独りでこっそりもできるという意味で、今完璧な状態なのかどうかよく分からないが、この機能にも期待していきたいと思う。</p>
上西委員	<p>○ 私も三省堂を推す。やっぱり文法だと私は思って、文法のところをよく見てみた。しっかりされていると思ったのは三省堂と東京書籍であるが、三省堂の場合、単元サポーターという形でしっかりまとめていて、途中でそのページの引用もあって、ここはこういう文法を学んでいるというところをすぐそのページに飛べるような工夫もされている。さらに巻末に基本文、これも各社あるが、三省堂のものが一番読みやすいと思ったため、三省堂を推したいと思う。</p>
教育長	<p>○ 4名とも三省堂を推薦ということで、三省堂を採択しようと思う。</p> <p>優れている点としては、小学校での学習についてのつながりがうまくできていること。それから、単元の場面設定が実生活に即したもので、子どもたちが入っているしやすいという点。それから、文法の知識も大事であり、そこを上手に触れている、あるいは日本語の工夫ができているという点で三省堂を採択しようと考えている。</p> <p>よろしいか。</p>
全委員 教育長 教育研究研修センター指導副主査	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、次は道徳に移りたいと思う。</p> <p>○ 特別の教科、道徳の各社の特徴をご説明する。</p> <p>まず、東京書籍である。各学年巻末に心情円が添付されており、生徒が言葉では表現しにくい心の葛藤や揺れを可視化できるように配慮されているという特徴がある。</p> <p>次に、教育出版である。生徒が同世代の登場人物に共感できるような三部作が各</p>

	<p>学年に掲載されており、3年間を見通した内容構成となっているという特徴がある。</p> <p>次に、光村図書である。各学年の第二教材の後に「道徳で大切にしたいこと」が設けられており、生徒が3つの観点を基に学びを深められるようになっているという特徴がある。</p> <p>次に、日本文教出版である。「学びを深めよう」では、学習過程の中で生徒が自分の考えを深めたり話し合ったりする活動例が適切に配置されているという特徴がある。</p> <p>次に、Gakkenである。巻末に「未来への扉」と「学びの記録」が掲載されており、生徒が学びを振り返ったり、将来の自分の思いを描いたりできるようになっているという特徴がある。</p> <p>次に、あかつき教育図書である。「マイ・プラス」では、登場人物の気持ちを想像したり、自分だったらどうするかを考えたりするために、役割演技や話し合い活動が充実するような学習展開となっているという特徴がある。</p> <p>最後に、日本教科書である。哲学的視点を含む教材が各学年に設置されており、生徒が人間としてどう生きるかを探究していくことができるように工夫されているという特徴がある。</p> <p>以上で説明を終わる。</p>
<p>教育長 門原委員</p>	<p>○ それでは、門原委員から願います。</p> <p>○ 私はあかつき教育図書を推薦したいと思う。教材の後に吹き出しで中心場面を示してあって、そこに自分との対話につなげるところが、自分だけではなくて多様な考えも出せるような工夫をされている。</p>
<p>石井委員</p>	<p>また、「Thinking」というコラムがあるが、そこでは発展的に、例えばいじめやSNS、認知症など現代的な課題も取り上げていって、大変興味深く、自分で考えたり、他者との関係で考えたり、自分のこととして考える、他者の考えを知る、そういうことができる可能性があるということで推薦したいと思っている。</p> <p>○ 東京書籍を挙げさせていただきたいと思う。ご説明にもあったように、心情円というのを使って、生徒が言葉では表現しにくい心の葛藤や揺れを見えるようにしているところは非常に可視化していくという点で分かりやすいなと感じていた。</p> <p>また、話し合いの進め方というのが最初のところで示されていて、そういったものを理解して道徳の授業をやっていけるというのが安心感もあって、社会に出てからも使えるような仕組みだと思った。</p> <p>そして、道徳という教科自体がどういうふうに進んでいくのか、なかなか難しいなという部分も正直あって、多角的や多面的に見るなど、そういった上で軽やかさというのが大事なのかなと思って見たときに、一番しなやかにつくられているという印象を受けた。</p>
<p>上西委員</p>	<p>○ 私は、あかつき教育図書を推したいと思う。目次が各社あって、1ページ目から目次と、テーマごとの目次というか、振り分けているページが結構他の会社にもあるが、あかつき図書がいろいろな件から学ぶという形でいじめを考える、情報能力やキャリアなどそういう形で、このくり方が非常に上手だなと思った。他社もくくっているところはあるが、くり方やくる内容などで、ちょっと何か分かりにくい。あかつき図書のテーマというのは非常に具体的で、子どもたちが勉強しやすいと私は思ったので、推したいと思う。</p>
<p>片山委員</p>	<p>○ 私も、あかつき教育図書を推薦したいと思った。その理由だが、このあかつき図書の問い自体がフラットというか、あまり作り手の意図など、こういうことを考えてほしいという枠付けが少ない問いだと個人的には感じた。このあかつき図書は、その題材を通じて、コンセプトとしては自分を見つめて考える、いろいろな見方で考える、自分の生き方を考える、この3つが3年間を通じて自分を成長させる学びの構成ということで一貫している。自分事、自分がどう考えるかというところで自由に発想できて、それを人の意見と併せながらいろんなやり方を知っていくというコンセプトが一貫していて、先ほど申し上げたが、編集者側の意図というのがあま</p>

教育長	り濃く出ていないという印象であった。 ○ 意見が割れたので、もう少し議論したいと思う。 岡山市の子どもの課題としてあるのが、主体的に考えにくい、あるいは自分の考えを広げにくい、深めにくい、このあたりが1点と、日常生活において道徳的行為に結び付けたり、他の人に関わろうとしにくいという点がある。こういった課題について、何かご意見があるか。上西委員が言われたあかつき教育図書は、テーマごとというのが分かりやすいのと、全体的な課題を結構積極的に取り入れられている。あかつき教育図書がその点では日常生活に即した内容かなというのは1点ある。葛藤やいろんな考えをもつというところで、東京書籍も心情円などの工夫はされている。
石井委員	何かご意見はあるか。 ○ 私は東京書籍を選んだが、片山委員がおっしゃったような決められた方向性にもっていかない、そういう観点ではあまり見てなかった。
教育長	○ 私も感想として、道徳の教科書が全体に難しいというのはある。あまり価値観の押し付けでもいけないと思う。子どもたちに葛藤が要るので、本当にこうすべきというのがあまり具体的に出ると、道徳の教科書として適さないと思うのだが、今ある中で考えると、現代的なテーマや課題を取り上げているあかつき図書がよいと思う。石井委員、よろしいか。
石井委員	○ はい。
教育長	○ では、先ほど言った子どもたちの考え、子どもの多様な考えを出せるという点、テーマの分け方、そして現代的な課題を積極的にテーマに取り上げている点、この点であかつき教育図書を採択しようとする。 よろしいか。
全委員	○ 〈承認〉
教育長	○ 以上で中学校、義務教育学校（後期課程）及び岡山後楽館中学校教科用図書についての採択を終わる。 それでは、事務局から説明をお願いします。
学校指導課長	○ 続いて、小学校及び義務教育学校（前期課程）で使用する教科用図書についてお願いします。 現在使用している教科用図書は1ページから5ページに示していて、これら全てをご採択いただければと考えている。よろしくをお願いします。
教育長	○ 何かご意見があればお願いします。
全委員	○ 〈なし〉
教育長	○ よろしいか、この件について。
全委員	○ 〈承認〉
教育長	○ それでは、意見がないので、原案のとおり採択することとする。 続けて事務局から説明をお願いします。
学校指導課長	○ 続いて、特別支援学級に使用する教科用図書についてお願いをする。 特別支援学級で使用する教科書については、より児童・生徒の実態に合ったものを使用するというので、各学校で選定委員会を組織し、採択いただきたい教科用図書を選定している。事務局で必要な指導、助言を加えた上で、令和7年度使用特別支援学級教科用図書選定資料を取りまとめている。 本日は、その資料にある絵本等を一般図書138冊と文部科学省発行の25冊の計153冊全ての採択をお願いしたいと考えている。 以上である。ご質問があるか。
教育長	○ 何かご意見があればお願いします。 今年新規で採択予定の教科用図書はどれか。
教育支援課係長	○ 例えば今お示ししている、(卓上に置いた本を指して) これらはほとんど新しい。
教育長	○ (卓上に置いた本を指して) このあたりは新しい。ほかは大体去年どおりだ。 石井委員よろしいか。
石井委員	○ 幾つも選んだ教科書から1人1冊という形になっているのだが、特別支援教育の

<p>教育支援課係長</p>	<p>教科書というのはどういうひも付け、一人と教科書のひも付けがどうなっているのかという点と、どういう制限があるのかということをお教えいただきたい。</p> <p>○ 主に知的障害のお子様たちがその子に応じて一般図書の中から選んでいるという形である。個別の支援計画等が学校にあるので、そういったものを保護者の方と一緒に作成しながら、実際にこのようなものがないかという検討の場を設けて、一人一人に応じた本を一般図書の中から選ばれるという形である。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 基本的には知的学級の年齢相応に学習がしにくいお子さんについて、子どもに合った教科書を選べる。石井委員が聞かれたかったのは、多分これなんかはこの教科書に入るのかということ。どれかの教科に当てはめているのか。</p>
<p>教育支援課係長 教育長</p>	<p>○ そうである。 ○ 9教科のどれかに当てはめて、その中から1種目1冊だけである。教科によっては通常のものを使う場合もある。</p>
<p>教育支援課係長 教育長 上西委員 教育支援課係長</p>	<p>○ もちろんである。 ○ だから、教科書をもろう冊数は同じである。 ○ 教室に置くという感じなのか。例えば、みんな1人ずつ持つのか。 ○ それを選んだお子さんは受け取って持ち帰る場合もあるし、学校に置いている場合も、その子に応じてである。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ そうである。共有ではない。 個に応じて選んでいる。ただ、教科書だけで学ぶのではなく、教科書に合わせて教材をつくったりする。 それでは、採択の方向でよろしいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉 ○ それでは、原案どおり採択ということでよろしく願います。 それでは、事務局から続けて説明をお願いします。</p>
<p>学校指導課長</p>	<p>○ 最後に、岡山後楽館高等学校用教科用図書について採択をお願いします。 岡山市立岡山後楽館高等学校の選定委員会において選定された教科用図書の一覧(案)と別に準備している選定理由書を基に採択をお願いしたいと考えている。 なお、選定理由書で第1部とあるのは、平成30年度告示の学習指導要領に沿った教科用図書ということである。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 何かご意見があるか。 後楽館高校の場合は自分で学習過程を選べるので、かなり多様な教科書を準備されている。 ご質問等があるか。</p>
<p>全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ 〈なし〉 ○ よろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ それでは、第17号議案を原案のとおり可決する。 以上で本日予定していた教科用図書採択についての審議は終了する。 事務局から連絡があればお願いします。</p>
<p>学校指導課長</p>	<p>○ 今後、採択教科用図書をまとめ、県教育委員会へ報告する。 なお、採択に係る資料、採択教科書、採択理由書等については、教科書の採択に関する信頼を確保するという観点から、法で定められた採択の期間は公表を控え、9月2日以降にホームページでの公表としたいと考えている。皆様もご協力よろしく願います。 以上である。</p>
<p>教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ 何かご意見はあるか。よろしいか。 ○ 〈なし〉 ○ それでは、以上で令和6年7月教育委員会定例会を終了する。</p>

傍聴の状況

報
一

道
般

1名

12名

令和6年7月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	令和6年7月30日（火）		
2 開会及び閉会	開会	13時10分	
	閉会	13時20分	
3 出席委員	教育長	三宅泰司	
	委員	石井希典	
	委員	上西芳樹	
	委員	片山美香	
	委員	門原眞佐子	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	岸川和忠	教育次長	島田和男
次長（教育総務部長兼務）	疋田洋一	学校教育部長	齋藤靖
生涯学習部長	大谷哲子	教育企画総務課長	山邊真由美
教育企画総務課 企画調整担当課長	佐藤美穂	教育支援課長	竹中茂樹
事務局 （教育企画総務課主査）	岩木洋	事務局 （教育企画総務課）	難波実佑
5 議題及び結果			
第16号議案	岡山市特別支援連携協議会委員の委嘱について		原案可決